

小中学校における生理用品のトイレ設置モデル事業について

1 概要

各学校における生理用品の配布については、現在、児童生徒の手元にはない緊急時や、生活困窮など経済的な理由により持参できない場合に対応するため、保健室にて児童生徒の様子を確認しながら行っているが、心理的負担などの影響や多様な配慮の在り方を検証するため、トイレに設置するモデル事業を実施する。

2 モデル校

- (1) 小学校：川西小学校、若宮小学校
- (2) 中学校：加古川中学校、両荘中学校

3 試行期間 令和4年4月中旬から7月（1学期終了）まで

4 実施内容

トイレ内に配布の案内を掲示するとともに、生理用品には、悩みなどの相談先を記載したカードを添えて設置する。

5 今後の予定

試行期間終了後に結果分析を行い、実施の必要性を検討する。